

あ…ダメだ…もう…私死ぬんだ…

ドキ…

え？
これ…ラージャンの…
おち…んちん…？

は…

…!?
うそ、嘘でしょ…嫌…無理
…無理無理無理無理
…こんな無理だよ…っ!!!

〜とある調査員の手記〜
キリン装備ハンターは密林で素材採集の途中
気付かないうちにラージャンの生息域を犯してしまっていた
ラージャンは縄張り意識が強く、侵入者を許さない
キリン娘が武器を取る暇もなく剛腕で体を掴まれ
容易く捕獲され、死の恐怖で股布を濡らしてしまう
その脆弱な姿は、ラージャンにとってはただの獲物
立ち込める尿水の香りがメスのフェロモンとして
ラージャンの繁殖欲を刺激してしまったようだ
邪魔な布を剥ぎ取られ、巢に持ち帰られたキリン娘
いつたいたうなってしまうのか…

ドキ…ドキ…

いや…やだ!!
やだっ!!だめ…っ!!!
やめて、やめてえ…っ!!!
あ……………っ!?

づっ…あぐうう…
うそ…こんなの…
あ…ああ……………

麒麟娘の腕よりも太いラージヤンのペニスが
前戯もないまま、サイズ違いの小さな穴に無理矢理
強引に、無遠慮に捻じ込まれていく
麒麟娘も一応はハンター、ヒトとは別物の
獰猛で凶悪なペニスを強靱な体で受け入れていく
ラージヤンの極太ペニスの半分ほどで
麒麟娘の最奥まで埋まってしまったようだ

ずぶぶぶ…!!

やーやーやーやー!!

んっ!!

はっ

びびっ

ほどなくして一方的な挿入が開始された。子宮をペニスで殴りつけるような性行為。さきほどまで激しく抵抗していたキリン娘も圧倒的な力で急所を責め続けられ観念したのか虚ろな目でラージャンのされるがままになっている。もはや完全に交尾を受け入れてしまったようだがしかし無力な私はただ見守る事しかできなかった。

あっ

あ...ぐうう...っ!!
こんな...だめ...

やめて...
もお...むり
やだあ...

ぶっ

うそ...こんな
滅茶苦茶なセックス...
なのに...なんで...?
変な気分...

どちっ!!

ずぶっ!!

ずっ!!

びびっ!!

どちっ!!



嫌っ!!だめっ
もおむりい…
こんなのだめ

やだよお…
なからしい…りやめ…♡
もどれなくなっちや…う…
だめえええええっ♡

ラージヤンの動きが二層激しくなり
腰を押し付ける形でピタリと止まる
交尾中の雄と雌が同時に痙攣しながら
性器の結合部から大量の白濁液が漏れ出している

腔内射精

この瞬間麒麟娘はラージヤンに中出しされた
化物の種付け交尾を受け入れてしまったのだ

○○○

はっ♡ あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

もお…♡だめ…らめえ♡
おちんちんだめだよ♡
しゅごいのだめえ♡

人間のと全然違うよお…
こんなのもお戻れないよお♡
だめ…せーし入れちゃ…
やはああ…♡♡♡

あっ♡

だめだあ…♡
ラージャンのおちんぽ♡
ごくぶとおちんぽしゅきい…♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

最初の射精から数時間、行為は未だ続いていた
キリン娘の小さな膣穴は、ラージャンの
巨大なペニスを受け入れるために拡げられ
延々続く抽挿の苦悶と性感に甘い声を漏らし
大量の精液汁と愛液を股間からまき散らしながら
異種繁殖を受け入れてしまっていた
極太のペニス引き抜かれ、すぐさま塞がれ
入念に、念入りに種付け交尾は続き
二匹の獣が満足するまで終わる事はなかった

はー...

はあ...はあ...
ダメなのに
私また...♡

ドキ...

はー...

ドキ...

もう、こんなこと...
やめなきゃいけないのに...
でも...おっきなおちゃんぽ...
素敵だよお...♡

ドキ...
ドキ...
ドキ...!!

〜続〜とある調査員の手記〜
ライジヤンの生息域にキリン娘が立ち入る
もうこれで何回目だろうか...
武器も持たず、最初から服を剥ぎ
股間から雌の匂いを漂わせている
今日もオスとメスのまぐわいが始まる

規格外の巨大なペニスが
性行為待ちの膣穴に呑み込まれる
まだ少し裂けているようだが
胎をえぐられているはずの麒麟娘は
恍惚とした表情を浮かべている

んああ…っ♡
すごいのくる…♡
はいつて…きたあ♡
一番欲しいの…
だいすきなおちんぼきたあ♡

ずぶぶぶ…!!

おーおーおー!!



はにゃあああ……♡
やっぱだめえ……♡
これやばあ……ああ♡

おちんぼ……
ラージャンのおちんちん
……きもちいいよお……♡

麒麟娘は片腕で体を掴まれ
まるで性玩具のごとく扱われている
巨大な陰茎に抽挿を繰り返され
滅茶苦茶に膣穴を突き上げられている
ラージャンに犯されているにも関わらず
彼女は何度も絶頂しているようだった

どきどき!!
ぞろぞろ!!

ずっ!!

びゅん!!

びゅん!!

ぶい

あ

あ

ん!!

は

びゅん



あ...あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...

.....きて...
たねづけ...いいよ
せーし出して...♡

いっしょにイこお♡
きて...きてえ...♡
おちんちんもっとお...♡

ふああああ♡♡♡

あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

膣^な内^か射^だ精^し
咆哮と共に、麒麟娘の胎内に
ラージャンの凶暴な子種が注ぎ込まれる
原始的欲求に種族の壁は無いという事だろうか
とめどなく溢れる精液が周囲を白く汚していく



はっ♡ あっ♡

あっ♡♡♡♡♡

にゃあああ…♡
もっと…もっとお♡
すてきなおちんぽお♡

こおびして…
せーしいれてえ…♡
おちんぽほしいのお♡

あっ♡♡♡♡♡

あっ♡♡♡♡♡

あっ♡♡♡♡♡
あっ♡♡♡♡♡

がっがっがっ

獰猛な獣と可憐な少女の繁殖行為
お互いを求めて終わらない種付交尾
——なんと神秘的な光景だろうか
もしかすると遺伝子の壁を越えて
生殖成功してしまっているかもしれない
これ以上恋人同士の邪魔をしてはいけない
調査報告を纏めて私は帰路に付いた

あっ♡♡♡♡♡

あっ♡♡♡♡♡
あっ♡♡♡♡♡
あっ♡♡♡♡♡





!!

!!

!!

!!

!!

!!



お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...

お...お...お...











































































































